学校教育目標	校訓「夢ひとすじに」 ○学び ○磨き ○鍛え ○羽ばたけ
目指す学校像	歴史と伝統を継承し、生徒一人ひとりが「夢と希望」「自信と誇り」をもてる教育を推進する学校
重点目標	1 「わかる」「できる」を実感できる授業を行うため、ICTを効果的に活用した授業の改善 2 いじめをなくす人権意識の育成と一人ひとりのよさを見出し認め、伸ばす指導の推進 3 地域、保護者から信頼される学校づくりの推進 4 施設・設備の点検、修繕による安心、安全な生活、学習環境の確保 5 キャリア段階に応じた教職員の資質向上と教職員事故を未然に防ぐ取組の実践

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学びの質の向上に関する取組

子どもの発達や心身のサポートに関する取組

地域とともにある学校づくりに関する取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組

学校自己評価					学校運営協議会による評価		
年度目標					年度評価		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	(現状) ○全国学力・学習状況調査では、国語、数学ともに、ほぼ市の平均と同じ。 ○ICTを効果的に活用した学習については、意欲的に取り組む生徒が多く、授業では自信をもって発表できる生徒が多い。 ○運動や合唱に、熱意をもって取り組むことができる。(課題) ○全国学力学習状況調査の結果より、国語の「言語の特徴や使い方に関する事項」に改善の余地がある。 ○生徒アンケートの結果より、家庭学習の習慣に課題がある。	・「わかる」「できる」を実感できる授業実践による学力向上	①学習内容への関心意欲向上を図るため、取り組む課題や課題の取り組ませ方を工夫改善する。 ②学習内容を振り返るとともに、繰り返し学習する機会を設定する。 ③自分の考えを説明する活動を重視し、生徒同士が学び合う機会を設定する。 ④合唱やものづくり等の体験活動を通して豊かな情操を育成する。	①学びの指標アンケート評価の維持向上 R6 主体的な学び 3.29(市 3.13) 探求的な学び 3.26(市 3.22) ②振り返りの時間、繰り返し学習する機会を設定できたか。 ③考えを説明する活動が設定できたか。 ④校歌を大切にし、誇りをもって歌うことができる生徒を育成できたか。			
		・ICTを効果的に活用した授業の改善	①スタディサブリの活用により、理解度に応じた内容を学習できるようにする。 ②他者の考えと比較することで、よりよい解決方法を見出すことができるようにする。	①スタディサブリの活用率を向上する。 R6 9月 48% 10月 74% 11月 60% 12月 51% ②学びの指標アンケート ICT活用評価維持 R6 ICT活用 3.06(市 2.93) ③ICTを活用した授業公開ができたか。			
2	(現状) ○R6 年度学校評価アンケート(生徒)「友達関係はうまくいっていますか」96.0%「いじめなどを見逃すことなく、思いやりをもった生活ができていますか」96.6%であった。 ○R6 年度欠席 30 日以上の生徒の割合は 8.6%であった。(課題) ○いじめを見逃さず、困り感のある生徒を支援し、いじめ事案に速やかに対応し、その後の見届けにより解決に導くこと。 ○個に応じた居場所づくりを推進し、登校するよさを味わわせること。	・いじめをなくす人権意識の育成	①週1回生徒指導委員会でいじめ事案の認知、経過、解消を確認する。 ②SNS 利活用、人権意識向上、いじめ根絶に係る講演の実施。 ③いじめについて考える学級討議の実施。	①いじめ事案解消率が改善できたか。 R6 (13/17 76.4%) ②SNS 利活用、人権、いじめ根絶をテーマとした講演会が実施できたか。 ③いじめについて考える学級討議ができたか。			
		・一人ひとりのよさを見出し、認め、伸ばす指導の推進	①週1回教育相談部会で支援の必要な生徒への指導方針を確認する。 ②心と生活のアンケート実施時に、全生徒を対象として二者面談を実施。 ③オンライン授業、タッチ登校、Sola 一む、相談室の活用を通じて、個に応じた不登校生徒への対応の実施。	①欠席 30 日以上生徒率が改善できたか。 R6 92/1066(8.6%) ②心と生活のアンケートに係る二者面談を学期に1回、全生徒と実施できたか。 ③アンケート結果より、生徒の不安が解消されたことと見とれたか。			
3	(現状) ○学校だより発行やホームページ更新により、教育活動を保護者や地域に発信している。 ○コミュニティ・スクールの目標を「地域に愛される子どもの育成」とし、それぞれの立場から学校教育に貢献できることに取り組んでいる。 ○コミュニティ・スクールの一環として、「みやはらまつり」での中学生神輿渡御、レッツ・ジョイン・クリーン活動を実施している。(課題) ○連絡用アプリを活用して、学校だよりや通知を保護者へ直接送付すること。 ○学校運営協議会に生徒を参加させ、生徒の活用や学習の現状について熟議すること。	・教育活動内容を周知する機会を充実する。	①月1回の学校だより発行。週1回学校の教育活動を知らせるホームページの更新。 ②オクレンジャー(連絡用アプリ)を活用した通知の電子化。 ③学期に1回以上の学校公開日を設定。	①学校だより月1回発行、ホームページの更新週1回ができたか。 ②オクレンジャー(連絡用アプリ)を活用して通知の電子化ができたか。 ③学期に1回以上の学校公開が実施できたか。			
		・それぞれの立場や役割で協働する学校の教育活動の推進(コミュニティ・スクールの推進)	①「みやはらまつり」での本校中学生による神輿渡御 ②レッツ・ジョイン・クリーン活動の実施。 ③学校だよりやホームページにより、地域と学校の関わりについて保護者へ周知。 ④学校運営協議会へ生徒を参加させる。	①「みやはらまつり」中学生神輿渡御を実施できたか。 ②レッツ・ジョイン・クリーン活動を実施できたか。 ③学校教育における地域の役割や貢献について発信できたか。 ④学校運営協議会に生徒を参加させられたか。			
4	(現状) ○施設が老朽化しているが、子どもの教育活動に支障のある箇所を優先して、修理、修繕を行っている。 ○ICT機器を活用した授業を充実するため、故障したタブレットには代替機を配付している。(課題) ○教室のドア、トイレの様式化、植栽の剪定、給食室機器の修理、不要備品の適切な廃棄を、優先順位を決めて行うこと。 ○熱中症、感染症等に対する対応を適切に行うこと。	・安心、安全な生活、学習環境の整備	①月1回の安全点検により、修繕箇所を把握し、予算等を考慮し、優先順位を決めて修繕を行う。 ②生徒の学校生活の安全、教職員の校務上の安全を確保するため、教育委員会と協働して施設整備にあたる。 ③熱中症、感染症の予防し、生徒の健康に配慮した学習環境を整備する。	①予算の範囲内で、学校修繕に取り組みめたか。 ②教育委員会と協働して修繕に取り組みめたか。 ③熱中症、感染症の予防策を講じ、生徒の校内罹患等を押さえることができたか。			
		・ICT機器の整備、補充による教育環境整備の推進	①学習用タブレット端末の持ち帰りを推進し、自立した学習者の育成に資する。 ②破損、故障の対応について速やかに対応する。教育委員会と連携した代替機を確保する。	①学習用タブレットの持ち帰りを実施し、課題、学習動画視聴等に取り組ませることができたか。 ②代替機の対応を、速やかに行うことができたか。			
5	(現状) ○生徒指導、教育相談、保護者対応について、理解を深め、適切な実践力を身につけることが必要とされている。 ○教科指導と評価の関連について理解を深め、質の高い指導が実践できることが求められている。(課題) ○体験的な活動を通して、生徒の学ぶ意欲の向上を図ることについて研究すること ○ICTを活用した授業について研修し、その実践力を培うこと。 ○教職員事故を防止すること。	・キャリア段階に応じた教職員の資質向上	①教職員の年次研修、各種研修への参加を奨励する。 ②校務に必要な知識、技能を習得するため、講師招聘や、校内職員を指導者としての研修を実施する。	①プラントを活用した研修受講が、推進できたか。 ②教職員の日々の校務に関わるニーズに講じた研修が実施できたか。			
		・教職員事故を未然に防ぐ取組の実践	①教職員事故防止に係る市教委のテキストを活用して、学期に1回研修を実施する。 ②年間の用務予定に応じて、その時期に気を付けるべき事故について周知し、危機管理意識を高める。	①教職員事故を、未然に防ぐことができたか。 ②起こりうる可能性のある事故について、タイムリーに指摘し注意を促すことができたか。			

学校運営協議会による評価
 実施日 令和 年 月 日
 学校運営協議会からの意見・要望・評価等